

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ジョイフル
 コード番号 9942 URL <http://www.joyfull.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月12日
 配当支払開始予定日

(氏名) 児玉 幸子
 (氏名) 初田 誠二

TEL 097-551-7131

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-----|------|-------|------|---|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年12月期第1四半期 | 14,637 | 1.8 | 563 | 777.6 | 543 | | 355 | 496.4 |
| 21年12月期第1四半期 | 14,372 | | 64 | | 43 | | 59 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 22年12月期第1四半期 | 12.09 | |
| 21年12月期第1四半期 | 2.03 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|-----|--------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 22年12月期第1四半期 | 28,804 | | 11,188 | | 38.8 | 380.43 |
| 21年12月期 | 29,190 | | 11,126 | | 38.1 | 378.32 |

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 11,188百万円 21年12月期 11,126百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 21年12月期 | | 10.00 | | 10.00 | 20.00 |
| 22年12月期 | | | | | |
| 22年12月期(予想) | | 10.00 | | 10.00 | 20.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 29,040 | 0.3 | 560 | 30.4 | 500 | 31.9 | 220 | 33.2 | 7.51 |
| 通期 | 60,020 | 1.8 | 2,230 | 24.8 | 2,130 | 26.9 | 980 | 59.5 | 33.32 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|--------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 31,931,900株 | 21年12月期 | 31,931,900株 |
| 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 2,522,576株 | 21年12月期 | 2,522,398株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 29,409,354株 | 21年12月期第1四半期 | 29,409,683株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用及び設備に過剰感が残る中、国内・国外における各種経済対策の効果などから、緩やかながら持ち直しつつある状況で推移いたしました。

一方、当業界においては、経済対策の効果から耐久消費財を中心に個人消費の一部に持ち直しの動きがあるものの、景気の先行き不透明感から消費者の生活防衛意識は強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、昨年に引き続いて、お値打ち感を主とした商品の提供と、お客様視点に立ったサービスの実践という当社のビジネスモデルの追及に取り組んでまいりました。

商品施策では、確かな品質・衛生管理をベースに、徹底的な「おいしさ」へのこだわりから「何度も食べたい商品」の開発に取り組んでおります。その一環として、1月には冬フェア第2弾の実施、2月には1ヶ月間の期間限定商品で60万食以上を売り上げた「ハーフパウンダーステーキ」の販売、3月には新商品「とろけるチーズインハンバーグ」を目玉としたグランドメニューの改定を実施してまいりました。

また営業施策では、昨年来から取り組んでいる店長・S V (スーパーバイザー) 制度の一層の強化とQ S C (良い品質・良いサービス・清潔な環境) の改善活動に加え、今期は「自立した強い店長の育成によるお客様に喜ばれる店作り」の推進と店内環境整備の観点から既存店舗の改修に取り組んでおります。

その結果、客単価は前年並みの推移となりましたが、客数が増加したことにより、当第1四半期連結会計期間における売上高は146億3千7百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益は5億6千3百万円(前年同四半期比777.6%増)、経常利益は5億4千3百万円(前年同四半期は4千3百万円)、四半期純利益は3億5千5百万円(前年同四半期比496.4%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間において、1月と3月にF C各1店舗の出店を、3月に直営1店舗の退店を行ったことから、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は709店舗(直営661店舗、F C 48店舗)となりました。

また、当社は保険代理店業務等を行う特例子会社と、中華人民共和国上海市にてファミリーレストラン事業を行う海外子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微なため、事業の種類別セグメント情報及び所在地別セグメント情報は記載しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は288億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円の減少となりました。

流動資産は53億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千5百万円の減少となりました。これは主に現預金の減少4億6百万円、有価証券(譲渡性預金)の増加5億円によるものです。固定資産は234億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千万円の減少となりました。これは主に減価償却費による有形固定資産の減少2億6千2百万円によるものです。

流動負債は86億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千万円の増加となりました。これは主に賞与引当金の増加3億3千6百万円、未払法人税等の減少1億9千3百万円によるものです。固定負債は89億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2千8百万円の減少となりました。これは主に長期借入金及び社債の減少4億8千6百万円によるものです。

純資産は111億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千2百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加6千1百万円によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、33億1千6百万円(前連結会計年度末比26.5%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、10億4千1百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益5億3千8百万円、減価償却費3億3百万円、賞与引当金の増加額3億3千6百万円、たな卸資産の減少額2億2千5百万円、支出の主な内訳は、法人税等の支払額3億8千9百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、5億7千8百万円(前年同四半期比68.4%減)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入6億円、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産取得による支出5千2百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、9億2千6百万円(前年同四半期比16.9%減)となりました。主な内訳は長期借入金の返済による支出5億7千8百万円、社債の償還による支出1億1千5百万円、配当金の支払額2億3千2百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成22年2月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

) 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

) 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境及び一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,816,494 | 3,222,626 |
| 売掛金 | 154,022 | 148,839 |
| 有価証券 | 500,000 | - |
| 商品及び製品 | 237,782 | 254,367 |
| 原材料及び貯蔵品 | 684,503 | 892,941 |
| その他 | 960,085 | 879,938 |
| 貸倒引当金 | 3,452 | 4,003 |
| 流動資産合計 | 5,349,437 | 5,394,709 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,756,636 | 8,975,073 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 339,470 | 358,954 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 607,051 | 631,836 |
| 土地 | 8,202,263 | 8,202,263 |
| その他(純額) | 5,440 | 5,616 |
| 有形固定資産合計 | 17,910,863 | 18,173,744 |
| 無形固定資産 | 106,212 | 108,200 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,328,638 | 3,343,174 |
| その他 | 2,109,404 | 2,170,420 |
| 投資その他の資産合計 | 5,438,043 | 5,513,594 |
| 固定資産合計 | 23,455,119 | 23,795,538 |
| 資産合計 | 28,804,556 | 29,190,248 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,352,611 | 2,416,607 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,912,200 | 2,119,700 |
| 1年内償還予定の社債 | 230,000 | 230,000 |
| 未払法人税等 | 286,362 | 479,903 |
| 賞与引当金 | 450,273 | 113,379 |
| その他 | 3,396,296 | 3,187,250 |
| 流動負債合計 | 8,627,744 | 8,546,841 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 710,000 | 825,000 |
| 長期借入金 | 7,368,400 | 7,739,500 |
| 退職給付引当金 | 427,234 | 416,159 |
| 役員退職慰労引当金 | 35,795 | 32,232 |
| その他 | 447,255 | 504,396 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|--------------|-------------------------------|---|
| 固定負債合計 | 8,988,685 | 9,517,287 |
| 負債合計 | 17,616,429 | 18,064,128 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,596,595 | 1,596,595 |
| 資本剰余金 | 2,390,432 | 2,390,432 |
| 利益剰余金 | 10,999,302 | 10,937,817 |
| 自己株式 | 3,770,791 | 3,770,696 |
| 株主資本合計 | 11,215,538 | 11,154,148 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,468 | 374 |
| 為替換算調整勘定 | 29,880 | 28,403 |
| 評価・換算差額等合計 | 27,412 | 28,029 |
| 純資産合計 | 11,188,126 | 11,126,119 |
| 負債純資産合計 | 28,804,556 | 29,190,248 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 14,372,017 | 14,637,521 |
| 売上原価 | 5,227,386 | 5,199,997 |
| 売上総利益 | 9,144,630 | 9,437,524 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬及び給料手当 | 4,708,504 | 4,678,848 |
| 賞与引当金繰入額 | 324,706 | 326,536 |
| 退職給付費用 | 34,506 | 35,056 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 5,090 | 3,563 |
| その他 | 4,007,663 | 3,830,454 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 9,080,470 | 8,874,458 |
| 営業利益 | 64,159 | 563,065 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,350 | 2,430 |
| 不動産賃貸収入 | 11,942 | 15,645 |
| 為替差益 | 12,879 | 1,759 |
| その他 | 9,524 | 13,319 |
| 営業外収益合計 | 41,696 | 33,155 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 44,794 | 30,569 |
| 不動産賃貸原価 | 15,339 | 17,103 |
| その他 | 2,538 | 5,114 |
| 営業外費用合計 | 62,673 | 52,786 |
| 経常利益 | 43,182 | 543,433 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 730 | 680 |
| 固定資産売却益 | - | 4 |
| 事業税還付金 | 15,009 | - |
| 移転補償金 | - | 330 |
| 特別利益合計 | 15,739 | 1,015 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 8,181 | - |
| 固定資産除却損 | 21,921 | 915 |
| 減損損失 | 131,170 | - |
| 賃貸借契約解約損 | - | 2,916 |
| 訴訟和解金 | - | 2,046 |
| 特別損失合計 | 161,273 | 5,877 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 102,351 | 538,571 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 208,588 | 246,057 |
| 法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額 | 293,478 | - |
| 法人税等調整額 | 77,084 | 63,064 |

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日) |
|--------|---|---|
| 法人税等合計 | 161,974 | 182,992 |
| 四半期純利益 | 59,623 | 355,579 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 102,351 | 538,571 |
| 減価償却費 | 338,323 | 303,029 |
| 減損損失 | 131,170 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 333,543 | 336,894 |
| 受取利息及び受取配当金 | 7,350 | 2,430 |
| 支払利息 | 44,794 | 30,569 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 400,430 | 225,022 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 354,542 | 63,996 |
| その他 | 192,153 | 97,095 |
| 小計 | 976,172 | 1,464,756 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12,298 | 695 |
| 利息の支払額 | 50,281 | 34,018 |
| 法人税等の支払額又は還付額(は支払) | 79,467 | 389,821 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,017,656 | 1,041,612 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,550,000 | 600,000 |
| 有価証券の償還による収入 | 300,000 | - |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | 43,090 | 52,182 |
| その他 | 24,150 | 30,362 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,831,060 | 578,179 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | 770,712 | 578,600 |
| 社債の償還による支出 | 115,000 | 115,000 |
| 自己株式の取得による支出 | 58 | 95 |
| 配当金の支払額 | 228,910 | 232,468 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,114,681 | 926,163 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,917 | 238 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,741,953 | 693,868 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,304,487 | 2,622,626 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,046,441 | 3,316,494 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）

当社グループはレストラン事業の売上高及び営業利益の金額が全セグメントの売上高及び営業利益の金額の合計額の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の金額の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。